

## 全11種目にチャレンジ！ 第19回ミニミニ大運動会

2月23日（日）大成中学校体育館において、大成区親子ふれあい推進事業実行委員会（石原広務実行委員長）主催の「第19回ミニミニ大運動会」が実施され、幼児・小中高生・父母・実行委員など関係者を含め約85名が参加しました。

今年度も参加者を4チームに分け、公認記録会の3分間なわとびコンテスト・3×3ジャンプ・10人11脚などに挑戦。また、ゴム玉入れやジャンボ風船パレー・スリッパ飛ばしなど、団体・グループ・個人種目の全11種目に汗を流しました。

また、昼食ではおなじみのバイキングとお楽しみ抽選会などを行い、大人も子どもも遊びを通して楽しいふれあいのひとときを過ごしました。



## 関係者約100名が参加！ 農業政策地域説明会

2月27日（木）、ふれあいプラザにおいて、せたな町農業再生協議会が、農業者及び農業関係者に向けた農業政策に関する地域説明会を開催しました。

この日は、関係者約100名が参加し、農林水産省や北海道から説明講師を招いて、国の農業政策の改革内容や交付金制度の説明などが行われ、参加者は農業政策の方向と制度への理解を深めました。

## せたな町手話を楽しむ研修会 手話を楽しみながら学ぶ

2月22日（土）、せたな町健康センター総合検診室において、「せたな町手話を楽しむ研修会」（主催：せたな町）が開催されました。

これは、普段あまり馴染みがない手話を楽しみながら学ぶことを目的に開催されたもので、この日は21人が研修会に参加しました。

研修会は「今金町手話サークル」に協力をいただきながら、地域づくりコーディネーターの道下康子氏（渡島・檜山圏域障がい者総合相談支援センターめい）の進行で、「手話の楽しみ」をテーマに、酒谷佳代氏（北海道ろうあ連盟）、小田島有紀氏（江差手話の会）、2人を講師に行われました。

参加した皆さんは始めに「あ行～わ行」の指文字を勉強し、指文字を覚えたところで、次に自己紹介やあいさつを手話で実践するなど、手話の基本を学びました。





## ふるさと学習講座「渡り鳥観察会」 オオワシなどを観察！

2月22日（土）、大成区（太田～長磯地区）を会場に「渡り鳥観察会」が実施され、町内の小学生など19名が参加しました。

観察当初は雪が降っていましたが、その後晴天となり、日本野鳥の会 伊勢勝洋さん指導のもと、この時期にしか見ることのできない「オオワシ」や「シノリガモ」などを観察することができました。

Topics 

## みんなで楽しみました！ 保育所（園）で ひなまつり会

3月3日（月）、北檜山保育所・瀬棚保育所・大成保育園で、ひなまつり会が開催されました。

それぞれ、ひなまつりについてのお話を聞いたり、玉入れゲームや子どもたち、先生たちの出し物のほか、ひなまつりにちなんだ、作品を制作するなど、みんなで楽しみました。

【写真】左上段：北檜山保育所、左下段：大成保育園、右：瀬棚保育所



## 平成25年度せたな町高齢者大学修了式 108人へ修了証書を授与

3月4日（火）、せたな町民ふれあいプラザにおいて、平成25年度せたな町高齢者大学修了式が3区合同で行われました。

修了生は3区合わせて108人（北檜山いきがい学園70人／瀬棚寿大学12人／大成くおん大学26人）で、各大学の代表者へ修了証書が授与されました。

また、全ての定例講座に参加した修了生5人には皆勤賞（いきがい学園2人／寿大学1人／くおん大学2人）が授与されました。

最後に修了生を代表し、北檜山いきがい学園の宮本正廣さん（せたな町高齢者大学運営委員長）からあいさつがありました。

引き続き、道高むつ子さんによる記念講演が行われ、修了生へのお祝いの言葉や東日本大震災被災地へ慰問した話を交えながら、演歌「がまんの枝に花が咲く」が披露され、修了生の皆さんは声援や拍手を送りながら楽しんでいました。

Topics 